

第10回 早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業 学生公演  
参加団体募集について

早稲田大学文化推進部文化企画課

【経緯】

早稲田大学は2007年4月に岐阜県美濃加茂市と文化交流協定を締結し、2008年より毎年9月に、本学学生による演劇公演を行っています。美濃加茂市出身の坪内逍遙は、シェイクスピア作品の翻訳「新修シェイクスピア全集」全40巻を刊行したことで知られていますが、同時に演劇や舞踊の発展のためにも尽力し、論考の執筆のほか、劇脚本の作成や演劇指導のための養成所の設立等、多岐にわたり活躍しました。本企画は、演劇・舞台芸術の発展に多大な貢献をした坪内逍遙の精神に倣い、始めました。

【概要】

学生の皆さんは岐阜県美濃加茂市のミュージアムで6日間合宿しながら稽古と公演をします。この企画の大きな魅力は、都会ではなかなかできない野外での公演が可能なこと。野外公演専用のスペースはありませんが、広い芝生、森、建物、空、全てが舞台。夜は照明次第で幻想的な空間に変わります。ガラス張りのエントランスホールで野外と往来したり、敷地内の施設を利用した演出も可能です。また、滞在中はワークショップの実施、美濃加茂市民との交流を通して、大学の外で活動する意義を見出してください。

【目的と期待】

「広い敷地内を舞台として用いるための発想力を鍛えたい」「いつもと違う環境で、早稲田の演劇を知らない人たちに向けて発表したい」「野外という区切りのない舞台で、あらためて演技や舞台美術を研究したい」等、参加者の目的は様々です。自然を活かした作品、美濃加茂にインスピレーションを得た作品、逍遙やシェイクスピアにまつわる作品、通常の劇場ではできないダイナミックな舞台構成の作品。あなたの創造力を存分に発揮して、ここでしかできない作品にチャレンジしてみませんか。

この企画は、学生の皆さんが主体となって創り上げる文化交流事業です。公演そのものだけでなく、美濃加茂市民を対象としたワークショップ等、地域間での文化交流について学生の目線での新鮮なアイディアもお待ちしています。大学は皆さんのアイディアを形にするお手伝いをします。

学生の皆さんが、本企画を活用して積極的に外に飛び出し、坪内逍遙の精神に触れ、成長していただくことを期待しています。また、現地市民の皆さんとの交流を通して、本学と美濃加茂市の文化交流がより活発になることを願っています。

詳細は以下の募集要項で確認してください。また、応募前に気になることや提案等ありましたら、大学にご相談ください。意欲あふれる皆様からのご応募お待ちしております。

第10回 早稲田大学・美濃加茂市文化交流事業 学生公演  
参加団体募集要項

1. 応募資格

演劇、その他舞台芸術活動を専門とする本学公認団体（学生の会、地方学生の会、同好会、学術院承認団体）で、運営に関わるスタッフ（制作、照明、音響、舞台監督等）を手配できる団体。

※複数団体のコラボレーションも可能。

※原則として現役の早大生をメンバーとすること。（他大生の参加については要相談。）

2. 実施概要

滞在期間：2017年9月12日（火）～18日（月・祝）

場 所：みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム（岐阜県美濃加茂市）

<http://www.forest.minokamo.gifu.jp/>

〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1 TEL: 0574-28-1110

内 容：敷地内（野外、エントランスホール、生活体験館まゆの家（古民家）等）での公演。  
その他文化交流事業の企画・実施（美濃加茂市民対象ワークショップの実施、市民との交流、学習等）

公 演：2017年9月16日（土）～17日（日）のうち任意の回数

人 数：スタッフ・役者含め 15 名以内

上演に関して：

- ・ 野外上演は雨天の場合を想定し必ず2日とも実施、または予備日を1日設けること。
- ・ 雨の場合はエントランスホールで実施するので、室内での演出も準備しておくこと。
- ・ 施設の都合上、18時以前のエントランスホールでの上演はできない場合がある。

照明・音響機材について：

- ・ 持込または文化の森からの借用。他団体の利用がない場合には、美濃加茂市文化会館の機材を借用可能。文化の森の機材については P7 参照。但し、実際の機材は事前に下見等で確認すること。
- ・ 毎日稽古終了後に指定の場所に撤収する必要がある。

3. 大学からのサポート

- ・ 経費は上限 35 万円まで大学より実費補助（要領収書）。35 万円を超える経費、また大学補助金の使途に含まれない費用に関しては、学生参加者の自己負担とする。
- ・ 大学からの補助金の使途に含まれるものは以下のとおり。

現地への往復交通費（高速バスおよびローカル線・路線バスが対象）、機材等運送費（宅急便）、舞台美術費、照明・音響費、スタッフ人件費、チラシデザイン費、滞在中の費用の一部、等

※スタッフ人件費に関して

公演スタッフとしてプロまたはOBが参加する場合、彼らに対する謝礼のみ補助可能。

学生個人への謝礼は大学からの補助金の使途には含まない。

- ・ 広告・宣伝費、映像記録費、宿舍利用費は、補助金とは別途、大学および美濃加茂市が負担する。ただし公開ゲネプロ等を行う場合、その広告・宣伝費は学生の負担となる場合がある。
- ・ 8月～9月頃、大隈記念講堂等を稽古・リハーサル場所として便宜供与（要予約）。  
※講堂利用は原則として平日 9:00～21:00。ただし大学の一斉休業期間および前後の定期清掃期間を除く。
- ・ 現地および大学での広報
- ・ 公演の映像記録作成
- ・ （希望する場合）プロの演劇・舞台関係者等による指導（以下参照）

#### プロによる指導・講評について

公演および美濃加茂市民対象ワークショップについて、希望する場合はプロの演劇・舞台関係者等に指導・講評をいただける可能性があります。参加企画書の所定欄に希望を記入していただければ、採用後に相談に応じます。ただし必ずしもご希望に添えるものとは限りません。希望される場合は、指導・講評を希望する方の氏名、肩書（所属団体および演出家・役者等）、どのような指導・講評を希望するか等を自由にご記入ください。

過去の指導例：小野記念講堂でのゲネプロおよびワークショップデモンストレーション観覧と講評、現地での本番観覧と講評、脚本指導等

#### 4. 宿舍について

みのかも文化の森内アトリエ棟にて宿泊。※最大収容人数 15 名  
食事は自炊（近隣のスーパーで買い出し可。調理室あり）、トイレ・シャワー共同、寝具・洗濯機あり、電動自転車使用可能、文化の森の敷地内にインターネット設備はなし。（ただし通信各社の Wi-Fi はエントランスホールにて利用可能）

#### 5. 応募

受付期間：2016年11月1日（火）～ 12月14日（水）平日 9:00～17:00

参加企画書を「早稲田文化ホームページ」（<http://www.waseda.jp/culture/partnership/minokamo/>）よりダウンロードし、添付書類と共に持参。

提出場所：文化推進部文化企画課（99号館 STEP21 5階）

提出書類：

- ・ 参加企画書（所定用紙）
- ・ 団体または主宰者の過去の公演のチラシ、パンフレット、写真等の資料（最大5枚まで）
- ・ 過去の作品のDVD。（団体の作品および、今回作・演出する方の作品各1枚、合計2枚まで）

※過去の作品がない場合は、その旨記載。過去の資料には本企画参加作品を含めない。

## 6. 選考

決定日：1月下旬～2月初旬を予定

決定団体：1団体のみ（コラボレーション企画は複数団体可能）

選考委員：本学文化推進部教職員、みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム職員

選考方法：書類選考および面接（面接は文化推進部で実施）

選考基準：意欲、作品内容、スタッフの体制等を総合的に評価

注意事項：応募時の代表者（主宰者）と演出・脚本担当者が異なる場合、面接の際両者に出席していただきます。

## 7. 顔合わせ・説明会

参加が決定した団体は、2月中旬以降に文化企画課にて顔合わせ・説明会を行いますので、主宰者またはスタッフは、必ず参加してください。

## 8. 制作について（※重要）

この企画は学生が主体となり運営する企画ですので、公演制作に関する諸々の事務作業が発生します。制作には主に以下の業務が含まれます。脚本・演出担当者が制作を兼任すると負担が大きいので、必ず制作業務に関する担当者を別に置き、担当者が決定次第、文化企画課に担当者の所属・氏名・連絡先を報告してください。制作担当者決定以後、大学・美濃加茂市との連絡は主宰者・制作担当者兩名に行っていただきます。

制作業務の例：

大学および美濃加茂市職員との連絡調整/団体内の要望・質問のとりまとめ/チラシ作成におけるとりまとめ/準備期間および現地でのスケジュール管理/下見の調整/交通機関の予約/講堂利用日の調整と使用書類作成/会計（会計担当を別に置くことは可）等。

## 9. その他

- ・ 市民との文化交流の一環として、滞在中1回以上、美濃加茂市内高校生または市民対象にワークショップを実施していただく予定です（2016年は岐阜県立加茂高等学校で演劇ワークショップを実施）。後日改めてワークショップについての企画書を提出していただきます。
- ・ メディアからの取材を受けていただく場合があります（これまでの例：新聞・雑誌の取材、ローカルラジオ生出演、等）。
- ・ 本事業の参加者は全員、美濃加茂出発前のオリエンテーションへの出席および公演終了後の大学へのレポートの提出と反省会への出席が義務付けられています。また美濃加茂市への出発前オリエンテーションおよび帰還後の反省会にて、アンケートへの回答等にご協力いただく場合があります。
- ・ 本年度は学生演劇公演10周年目にあたり、学生による演劇公演のほか、同時開催のイベントを予定しております（詳細は未定）。学生演劇公演参加者にも、運営や出演等にご協力いただく可能性があります。

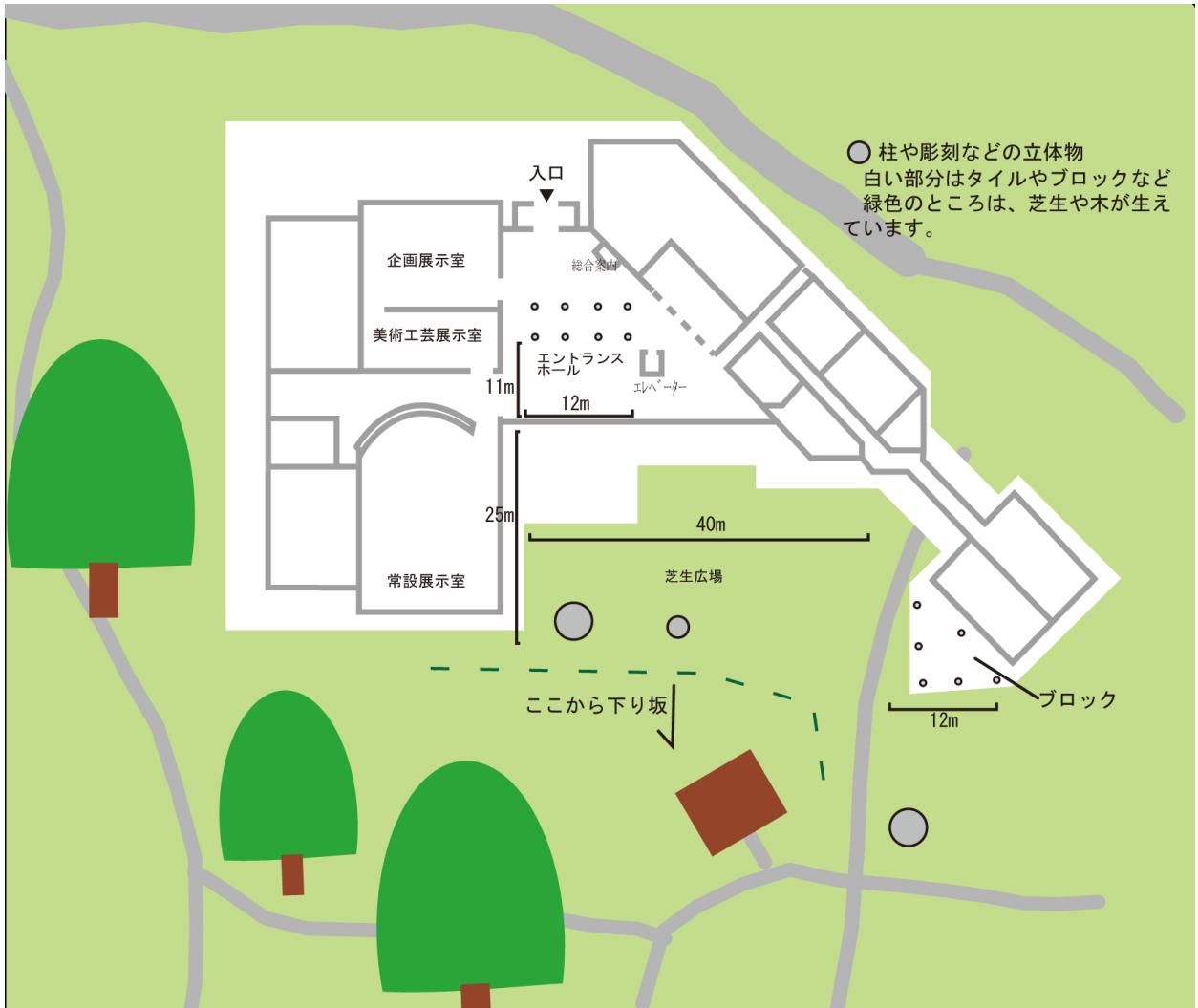
10. スケジュール（予定）※変更となる場合もあります。

2016年11月1日～12月14日	応募・面談
1月下旬～2月初旬	選考結果発表
2月中旬	大学との打ち合わせ
5月16日（火）	チラシ初稿入稿
5月下旬～7月上旬	チラシ納品、広報開始
7月上旬	参加者顔合わせ・説明会（全員参加必須）
5月～8月中	現地下見 （回数は任意。費用は補助金使用もしくは自己負担）
8月下旬～9月上旬（出発前）	公開ゲネプロ（希望する場合） 出発前オリエンテーション（全員参加必須）
9月12日（火）～18日（月）	美濃加茂市滞在
9月29日（金）まで	レポート提出
10月中	反省会（全員参加必須）

お問合せ：文化推進部文化企画課（99号館STEP21 5階）

Tel:03-5272-4783（月～金 9:00-17:00） Email: minokamo-koen@list.waseda.jp

くみのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム 会場平面図



<みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム 貸出備品一覧>

名 称	内 容
照明用カラーフィルム、枠	—
CT	6本
TT×8m	3本
TT×5m	9本
グレーコード	1式
パーライト	8本
〃 スタンド	6基
〃 取り付けハンガー	2個
ツカミ	—
変換	7個
音響ミキサー（ヤマハ EMX5000-12）	1台
照明（MS-G-5）500W	10器
照明（AE-BF-6）500W	8器
照明（AE-BF-8）1000w	15器
照明（PL-110）1000w	10器
エムライト 650W	2器
吊ハンガー	10個
照明の足	2個
照明操作卓（MARUMO TZ-10A）	1台
平台、箱馬等	—
MD デッキ	2台
スピーカー	2個

※具体的には現地で機材を確認のこと。